

平成 25 年 10 月 17 日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (10/17 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力 ^{*1}	原子炉格納容器 水素濃度	
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9m ³ /h	30.1	107.0 kPa abs	A系： 0.05	vol%
		給水系：約 2.5 m ³ /h			B系： 0.05	vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.4 m ³ /h	40.5	7.56 kPa g	A系： 0.06	vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.06	vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 3.5 m ³ /h	39.7	0.22 kPa g	A系： 0.12	vol%
		給水系：約 2.0m ³ /h			B系： 0.12	vol%

*1:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

・H25/10/16 10:09 頃 2号機サブプレッションチェンバ内部の気体が原子炉格納容器ドライウェル側へ移動していることの有無を確認するため、窒素ガスの封入を開始(10/30 まで実施予定)。窒素ガスの封入量は5 Nm³/h。今後、サブプレッションチェンバ内への窒素ガス連続封入にあたっては、関連パラメータの監視およびデータ採取を行う。

【3号機原子炉建屋5階中央部近傍(機器貯蔵プール側)での湯気発生状況】

・H25/10/17 11:30 頃 湯気をカメラにて確認できないことを確認。(気象データ[10/17 11:30 時点]):気温 18.1℃、湿度 55.8%)
※プラント状況、モニタリングポストの指示値等異常なし。

< 2. 使用済燃料プールの状況 > (10/17 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	23.5
2号機	循環冷却システム	運転中	21.3
3号機	循環冷却システム	運転中	20.2
4号機	循環冷却システム	運転中	29.0

※各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元 →	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	3号機タービン建屋	10/10 10:20 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物 減容処理建屋[高温焼却炉建屋])	10/4 10:26 ~ 移送実施中

7/16 13:00~ 5, 6号機屋外の仮設タンク(9基)には、震災時に5, 6号機各建屋に流入した海水および地下水(メガフロート水)を貯蔵しているが、本仮設タンク水を5, 6号機タービン建屋滞留水と同様に淡水化处理(RO)を行うため、6号機北側にあるFエアータンクへ移送を開始。

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (10/17 7:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	除染装置	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)
運転 状況	停止中	運転中*	停止中	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	C系ホット 試験中

*フィルタの洗浄を適宜実施。

- ・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- ・H25/8/8 12:55～ 6/15に多核種除去設備A系で発生したバッチ処理タンクからの水漏れについて、現在A系で実施している腐食防止対策をB系でも実施するため、同設備B系を停止。
再発防止対策を実施した上で、C系は9/27にホット試験を開始。A系は10月下旬、B系は11月以降を目処にホット試験を再開予定。

< 5. その他 >

- ・H25/10/9 2号機の取水口スクリーンのシルトフェンス内側および外側において、セシウム 134 およびセシウム 137 の値が、10/8の分析結果と比較して有意な上昇傾向を確認。
今回の上昇は1, 2号機取水口付近止水対策工事の影響による可能性が考えられるが、これを受けて10/11から1週間を目途に、港湾内5地点(物揚場前、1～4号取水口内北側(東波除堤北側)、2号機スクリーン(シルトフェンス内側)、2, 3号機取水口間、港湾口)のサンプリング頻度を上げてモニタリングを強化。
10/15に採取した海水のトリチウムの分析結果について、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- ・H25/10/17 7:40 頃 1・2号機東側に設置したウェルポイントおよび集水ピットにて汲み上げた地下水を受ける仮設ノッチタンク上部から水が溢水していることを当社社員がウェブカメラにて確認。そのため、午前7時43分ウェルポイント及び集水ピットの汲み上げを停止。現場の状況を確認したところ、仮設ノッチタンク下に設置してあるシートで養生されている堰内に留まっており、漏えいした水はウェルポイントに戻るようライン(溝)が構成されていることから、周辺土壌及び海への流出はないことを確認。なお、ウェルポイント及び集水ピットの汲み上げを停止したことにより、仮設ノッチタンク上部からの溢水は停止。モニタリングポスト指示値の有意な変動は確認されていない。その後、現場を確認したところ、仮設ノッチタンクから水タンクへ移送するポンプの電源(ディーゼル発電機)が停止し、それにより、当該ポンプが停止。ディーゼル発電機が停止した原因は、当該ポンプと同じ電源に接続されていた予備のポンプが絶縁不良を起こしたことから、漏電遮断器が動作したためであることが判明。このことから、絶縁不良を起こした予備のポンプの取り外しを行い、ディーゼル発電機を再起動し、13:20 頃、移送ポンプの運転を再開。
- ・H25/10/17 5・6号機の取水口に二重に設置したシルトフェンスのうち南側シルトフェンスの固定用金具が外れたことにより、シルトフェンスがロープから外れていることを協力企業作業員が発見。なお、もう片方のシルトフェンス(北側)の設置状況に異常はない。切断されたシルトフェンスについては、応急処置を施し、10/18以降に修理する予定。
- ・10/16 台風接近に伴う降雨の影響について、Cエリア(東)およびCエリア(西)のノッチタンクの水が排出基準を満たしているため、5:40に排出を開始し、6:30に終了。堰の水位が上昇しており、堰内の水が排出基準を満たしていることから、緊急時の措置として当該堰ドレン弁の開操作または仮設ポンプにより、堰外へ排出。各エリア堰内水の排出および仮設ポンプによる排水実績については以下の通り。
 - ・H5エリアから地下貯水槽 No.7への移送:8:09から 11:06
 - ・H6エリアから地下貯水槽 No.7への移送:7:30 から 12:27
 - ・H9エリア排水(ドレン弁開/閉):7:26/ * 13:30 から 14:30
 - ・H9エリア(西)排水(ドレン弁開/閉):7:32/ * 13:30 から 14:30
 - ・Cエリア(東)から堰外への移送:7:05から 8:00 頃
 - ・Cエリア(西)から堰外への移送:7:00/ * 13:30 から 14:30
 - ・Cエリア(西)排水(ドレン弁開/閉):7:00/ * 13:30 から 14:30
 - ・Eエリア排水(ドレン弁開):7:30/ * 13:30 から 14:30
 - ・H8エリア(北)排水(ドレン弁開/閉):6:55/ * 13:30 から 14:30
 - ・H8エリア(南)排水(ドレン弁開/閉):6:55/ * 13:30 から 14:30
 - ・G3エリア(東)排水(ドレン弁開/閉):8:56/11:40
 - ・G3エリア(北)排水(ドレン弁開/閉):8:56/11:40

* 13:30 から 14:30 の間にかけて、順次、各エリアのドレン弁を閉、または移送ポンプを停止した。
なお、G3エリアタンクは溶接型であり、多核種除去設備(ALPS)処理後の処理水(セシウムとベータ核種

除去しトリチウムを含むものも貯蔵している。パトロール等で漏えいのないことを確認しているが、堰内の水についてセシウムとストロンチウムを分析し、排出基準以下であることを確認している。またH5エリアおよびH6エリアの堰内の水については、溢水を避けるための緊急避難的措置として、地下貯水槽 No.7(これまで未使用)に移送し、一時的に仮貯蔵する。H6エリアについては、7:30 に移送を開始している。H5エリア堰内の水の地下貯水槽 No.7への移送について、8:09に消防車による移送を開始した。仮貯蔵した水は、台風通過後に4000m³ ノッチタンクへ速やかに移送する。念のため、地下貯水槽 No.7のドレン孔および漏えい検知孔で監視強化を行う。10/16 採取の地下貯水槽 No.7の検知孔については塩素濃度が北東側8ppm、南西側7ppm で、全ベータおよびガンマ核種は検出限界値未満となっている。

・10/18～ 6号機燃料集合体を原子炉内から使用済燃料プールへ移動させる作業を開始予定。11月下旬の完了予定。

【H4エリアタンク・B南エリアからの水の漏えい関連】

<トピックス>

- ・10/6 H4エリア I グループ No.5タンクの側板1段目の解体を実施。
- ・10/7 H4エリア I グループ No.5タンクの底板部の解体を実施。

<最新のパトロール実績(10/16)>

- ・台風への対応のため、目視点検によりタンク全数に漏えい等がないこと(漏えい確認ができない堰内溜まり水内を除く)、サーモグラフィによる水位確認(10/15*撮影分の分析結果)によりタンク水位に異常がないことを確認。
*「10/16」と記載しておりましたが正しくは、「10/15」でした。お詫びし訂正いたします。

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・有意な変動なし。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・10/16 に採取分のH4エリア周辺のB排水路のC-1、C-1-1、B-2、C-2においては、全β放射能が過去の変動に対して高い値となっている。全β放射能が上昇した原因は台風により排水溝周辺の汚れが排水溝に流入したものと考えており、今後排水溝の清掃を実施。その他の分析結果については、前回と比較して有意な変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<トピックス>

- ・1・2号機取水口間のウェルポイントおよび集水ピット(南)地下水から立坑Cおよび2号機タービン建屋への移送量は10/17 0:00 時点で約3,558m³ *集水ピット(南)およびウェルポイントの総量

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・有意な変動なし。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- ・H25/7/1～ 拡散防止対策およびサンプリングは継続実施中。(有意な変動なし)
- ・H25/10/3～ 地下貯水槽 No.1 の汚染範囲調査開始。

以上